

運営推進会議議事録（2022. 4. 1）

こここりハビリデイサービス

感染拡大予防のため、会議は開催せず。期間中（2021. 9～2022. 3）の報告書を作成し、関係事業所様に送付いたします。

報告書送付先：越谷市地域包括支援センター 大相模 様・近隣自治会長様・ご利用者代表者様

検討内容

- ① 当事業所の運営について（実績）
- ② 当事業所の今後の課題と予定について

検討内容①当事業所の運営について

コロナ関連：

感染予防の対応について

これまでの感染拡大予防対策として、職員とご利用者様の来所前の検温の実施、マスクの着用の徹底、換気のため排気窓の開放（常時排気窓の開放）、サーキュレーター導入、机の上のパーテーションの設置（食事時間帯のみ）を継続しています。また、2022年2月からご利用者様にはご自宅での検温に加え、送迎時の職員による検温と手指の消毒を追加で行っています。

感染予防を徹底したつもりでしたが、職員（長屋：機能訓練指導員）が2月に感染しました。6営業日の休業を致しました。大変ご迷惑をお掛けして申し訳ございませんでした。幸い、職員・ご利用者様共に常時マスクを着用しており、濃厚接触者に該当する方はおらず、感染も拡大しませんでした。感染が拡大しなかったことは、普段からのご利用者様のご協力の賜物だと思っております。本当に感謝しております。

また、3回目のワクチン接種におきまして、職員はほぼ接種を終了しております（長屋のみ2月にコロナに感染したため、3月末の段階では有効な抗体が体内に存在していると思われます。そのため4月以降の接種を予定しています）ご利用者様におかれましても90%以上接種されております。接種されていない方は、アレルギー等の副反応を懸念され、今後も接種はしない予定です。

今後も、引き続き感染予防対策を徹底致します。

転倒、転落等の事故発生：1件

自動車事故：事故発生日：2022. 3. 23（水）

事故状況：送迎時（ご利用者様3名同乗）、当方車両が私有地から大通りに侵入する際（右折）、左方向から走行する直進車両に衝突した事故。本件につきましては、当方運転者の前方不注意が原因です。幸い、それほど速度が出ていなかったこともあり、当方同乗者、先方同乗者様にも怪我人がおりませんでした。

対応：当事故運転者に対しては、原因を追究し、今後の方針を検討しました。検討の結果、当事故運転者は今後送迎業務には携わらないことになりました。また、他の運転者にも当事故の詳細を伝え、運転には十分に注意をするように改めて周知致しました。

また、先方運転者様には当方の一方的な前方不注意であることを認め、ご納得のいく対応が出来るように当方自動車保険会社に対応を依頼しております。

今後について：今回のような事故が起きないように、十分に注意を致します。

人員配置：施設基準（越谷市で定められた、配置が必要となる職員）

1日毎の人員配置

- ・生活相談員 1名
- ・ヘルパー 1名（生活相談員・ヘルパーのうちどちらかは常勤でなくてはならない、無資格でも可）
- ・機能訓練指導員 1名
- ・管理者 1名（生活相談員や機能訓練指導員等との兼務可）

⇒常時 3名以上の人員の配置が不可欠

現状のにこにこリハビリデイサービスの人員配置

人員は前回報告時より異動なし（令和1年8月より職員の退職、入職はありません）

1日毎の人員配置

- ・生活相談員 1名（常勤）
- ・ヘルパー 2名（非常勤）
- ・送迎ドライバー 1名（2名の曜日も有）
- ・機能訓練指導員 1名（理学療法士）
- ・管理者 1名（機能訓練指導員との兼務）

⇒常時 4名 + 送迎ドライバー 1名

現在の職員は全員有資格者（生活相談員 = 介護福祉士（国家資格）

非常勤ヘルパー = 介護福祉士 3名 ヘルパー2級 1名 初任者研修修了 1名）

利用者情報：

現在登録者数：47名（要介護 26名 要支援 21名）

登録状況（定員は既存のサービス 10名・サービス A 2名）

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	8 (2)	10	10	9 (1)	9 (1)
午後	10	9	9	8	9 (1)

※()内はサービス A の方

※令和 4 年 3 月 31 日現在

担当ケアマネージャー様情報：

こしがや社協：7名 にじ：6名 はれ：1名 包括 川柳：2名 包括 大相模：4名
なごみの郷：5名 みやび：4名 あおぞら介護：2名 包括 蒲生：2名
ふくふく：1名 アートケアプラン：2名 ツクイ北越谷：2名 新越谷病院居宅：2名
ときわケアマネオフィス：2名 徳風：2名 まるみ・ひまわりクリニック・げんき：1名

デイサービスでの活動状況

- ・リハビリ（個別リハ、マシン等の自主リハ、トランプ・折り紙・計算等の脳トレ）
- ・入浴
- ・集団リハビリ 16時～ 運動種類の増加、手法のマンネリ化の対策として動画を導入致しました。ディスプレイに体操の動画を映し出し、その動画に合わせて体操を行っていただいています。
- ・交流 ご利用者様同士の交流、職員との交流

※引き続きアロマセラピーは感染予防のため中止しております。

職員の教育：

- ・月に一度（計画的に）始業前に勉強会を開催中。
（消防研修、危険予測トレーニング、感染症対策、虐待予防について等々）
- ・外部の研修会の参加も積極的に促していきたいと考えています。

検討内容②当事業所の今後の課題

今後の課題：

身体介護、健康管理：緊急時の対応や感染症対策の徹底を継続（定期的な研修を維持する、フローチャートの周知、緊急連絡のための書類の整理等）

リハビリ：マシントレーニング、平行棒内運動等を実施なされています。同じ運動を続けることはとも行っており、極力お身体を動かしていただける機会を増やしています。

職員の確保：前回の運営会議から職員の退職はありません。引き続きできる限り職員の退職を予防出来ますように面談等を行っていく予定です。

利益の確保：ご利用者様の体調不良等により入院される方や、長期間の在宅療養されている方もいます。稼働率の低下は否めませんが、一定のご利用者様の確保は出来ています。大きく赤字となっていることはありません。現状にて経営を続けていきたいと考えています。

簡単ではございますが、以上の報告にて今回の運営推進会議を代替させていただいたものといたします。

今後も、常にご利用者様に寄り添うデイサービスの運営を目指して参ります。

今後ともどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

ここにこリハビリデイサービス 管理者 長屋秀吾